

# 平成 29 年度の重点施策について

平成 29 年度第 4 回 柏市子ども・子育て会議  
(平成 30 年 3 月 26 日)



## 目次

No.	平成29年度重点施策報告書	作成所属	ページ
1	地域子育て支援拠点事業	子育て支援課	1
2	子育て支援の啓発事業	子育て支援課	3
3	利用者支援事業（基本型）	子育て支援課	4
4	子育て支援包括支援センター運営事業	地域健康づくり課	5
5	産後ケア事業	こども福祉課	6
6	障害児通所支援（児童発達支援）事業	こども発達センター	7
7	就労支援事業	こども福祉課	8
8	教育・保育の計画的整備	保育整備課	9
9	こどもルームの整備	学童保育課	12

# 1 地域子育て支援拠点事業 【子育て支援課】

[地域子育て支援拠点事業]

【北部】	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	49,334人回/年	46,764人回/年	45,636人回/年	44,508人回/年	44,112人回/年
確保方策	8か所	8か所	8か所	8か所	8か所
拠点数	8か所	8か所	9か所		

【中央】	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	47,832人回/年	46,752人回/年	45,396人回/年	43,980人回/年	43,332人回/年
確保方策	6か所	6か所	7か所	8か所	8か所
拠点数	6か所	6か所	6か所		

【南部】	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	50,460人回/年	49,884人回/年	48,900人回/年	47,820人回/年	47,412人回/年
確保方策	7か所	7か所	8か所	8か所	8か所
拠点数	7か所	7か所	7か所		

【市全域】	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	147,636人回/年	143,400人回/年	139,932人回/年	136,308人回/年	134,856人回/年
確保方策	21か所	21か所	23か所	24か所	24か所
拠点数	21か所	21か所	22か所		
取り組み	◆新規整備箇所の検討	南部に1か所開設※南部で1か所閉館した為拠点数は増減無)	北部に1か所開設		



11月に青少年センターにオープンしたはぐはぐひろば若柴

■ 柏市子ども・子育て支援事業計画の該当施策

施策1-(1) 子育て・親育ちの環境づくり 32・33ページ

■平成29年度の取り組み

◆平成29年11月1日に、青少年センターの一部を活用し、「はぐはぐひろば若柴」を開設しました。多くの乳幼児親子にご利用いただき、2月末現在、4,555人（2,094組）の親子の利用がありました。また、育児相談は89件対応しています。

■今後の取り組み・課題

◆平成30年度は、既存の施設はヒアリングやアンケート調査を基に、事業内容の改善や向上に努めます。また、今後新たに開設する拠点について検討を行います。

## 2 子育て支援の啓発事業 【子育て支援課】

[啓発イベント]

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
企画検討	シンポジウム等の開催		民間による開催を支援	
企画検討	はぐはぐ仲間ミーティング 2017開催	はぐはぐ☆子育て応援フォーラム in 柏 開催		

### ■平成29年度の取り組み

#### ◆「はぐはぐ☆子育て応援フォーラム in 柏」を開催

・講演会（図書館と共催）、分科会、14の子育て支援団体によるイベントや活動紹介などをイベント協力スタッフやボランティアの協力も得て実施しました。631人の市民が参加し、「他団体や親子とのつながりができた」「子育ての情報が得られた」などの声が寄せられ、啓発とともに、子育て支援のネットワーク構築への効果も得られました。

### ■今後の取り組み・課題

◆平成30年度もフォーラムを1月に実施予定です。市民による実行委員会を立ち上げ、市民主体の自立的運営を進めます。実行委員会の組織にあたり、担い手や構成、市の関わり方を工夫していくことが重要であると考えています。



分科会「うちの子どこ入る？入園後の生活を考えよう」の様子

### ■柏市子ども・子育て支援事業計画の該当施策

施策1-(1) 子育て・親育ちの環境づくり 32・33ページ

### 3 利用者支援事業（基本型） 【子育て支援課】

#### [地域子育て支援拠点事業]

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所
確保方策	1か所	1か所	2か所	2か所	2か所
実績	1か所	1か所	2か所		

#### ■平成29年度の取り組み

◆平成29年5月に、地域子育て支援拠点はぐはぐひろば沼南に併設する形で、利用者支援事業・基本型の専任スタッフとなる子育て支援アドバイザーを配置しました。専任スタッフを5名養成し、毎日1名がひろばで相談等の業務に従事しています。1月末現在、509件の相談等に対応し、必要に応じて情報提供や関係機関へのつなぎを行っています。

#### ■今後の取り組み・課題

◆はぐはぐひろば沼南では、子育て支援アドバイザーの活動を拡充し、ひろばに来ることができない親子に対応するため、専任スタッフの増員と出張相談の実施を検討します。また、事業の拡充を図るため、平成31年度に新たに窓口を開設し、子育て支援アドバイザーを配置します。

[子育て世代包括支援センター(利用者支援事業母子保健型)]

※新規事業

### ■平成29年度の取り組み

◆「妊娠子育て相談センター」の整備及び運営開始について下記の場所に整備し運営を開始しました。

(計3か所)

- ・平成29年4月：「ウェルネス柏」，「沼南支所」(2か所)
- ・平成29年10月：柏駅前の「ファミリ柏」3階(1か所)

### ◆「妊娠子育て相談センター」業務内容

- ・保健師等の専門職を配置し，妊産婦等の支援に必要な実情の把握，妊娠・出産・育児に関する相談に応じ，必要な情報提供や助言，保健師指導を実施しました。一人一人の状況に併せたオーダーメイドの「子育て応援ケアプラン」を策定しました。
- ・母子健康手帳交付を「妊娠子育て相談センター」と「本庁母子保健コーナー」に集約しました。保健師等の専門職による面談を妊婦全員に実施し，包括的・継続的な支援体制を整備しました。
- ・気軽に相談ができるように，妊婦の住まいの地域と地域担当保健師の名前を記載した名刺を配布しました。

### ■今後の取り組み・課題

◆「本庁母子保健コーナー」を「妊娠子育て相談センター」として再整備します。

◆柏駅前の「妊娠子育て相談センター」を拡張し，こども部との連携のもと子育て期の相談支援体制の充実強化を図ります。



柏市妊娠子育て相談センターのマーク



### [産後ケア事業]

#### ※新規事業

##### ■平成29年度の取り組み

◆平成29年8月から施行開始した新規事業です。家族等から十分な家事及び育児などの援助が受けられず、育児不安を持つ母子に対し、心身のケアや育児サポート等のケアを宿泊型と日帰り型のサービスにより医療機関等に委託して実施しました。利用前後に事業希望及び利用者の自宅に訪問または面接を実施し、養育環境等の状況確認を行い、相談先の提供や妊産婦の精神的な安定を図りました。

◆平成29年2月末時点で27件の申請があり、産後ケア事業の利用に至っています。

##### ■今後の取り組み・課題

◆柏市及び周辺産科医療機関へ事業周知を行い、産後ケア事業等産後の支援を特に必要とする妊産婦の早期発見、早期からの支援開始につなげます。

◆利用後も家庭訪問や養育支援訪問など継続した支援を実施します。

## 6 障害児通所支援（児童発達支援） 【こども発達センター】

[障害児通所支援（児童発達支援）]

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
見込み量	146人/月 (1,800人日/月)	151人/月 (1,980人日/月)	155人/月 (2,160人日/月)	ノーマライゼーション かしわプランの次期 改定時に設定します	
実績	155人/月 (1,642人日/月)	161人/月 (1,741人日/月)	未確定		

### ■平成29年度の取り組み

◆官民の児童発達支援センター間において、定期的に話し合う場を持ち、平成30年度の児童発達支援センター利用児の入園調整を行いました。

◆11月29日には、市内の民間事業所（13ヶ所）を対象に、療育スキルの向上と官民の連携強化のため、キッズルームひまわりの「公開療育」を実施しました。キッズルームひまわりの運営方針等を説明の後、各クラスの療育場面を見学した。「療育の参考になった、今後も実施して欲しい、事業者間の連絡会のような場が欲しい」など意見がありました。

### ■今後の取り組み・課題

◆今後も、官民の児童発達センターが連携を図り、公開療育等を実施し、支援の必要な子どもたちが、安心して利用できる療育環境の充実に努めます。

■柏市子ども・子育て支援事業計画の該当施策

施策2-(4) 障害のある子どもへの支援 48・49ページ

## 7 就労支援事業 【こども福祉課】

[ひとり親家庭高等訓練促進資金貸付事業]

※新規事業

### ■平成29年度の取り組み

◆ひとり親世帯の貧困率が50%を超えていることから、ひとり親家庭の親が就職に有利な資格とされる看護師、准看護師、保育士及び介護福祉士の資格取得を目指す際に、養成機関在学中（最大3年間）に月額最大5万円の資金の貸付（返済免除要件有り）を行うことにより、その自立の促進を図りました。

なお、平成29年度の利用者数は合計9名で、内訳としては看護師8名、准看護師1名でした。

### ■今後の取り組み・課題

◆対象資格が4種類あるにもかかわらず、平成29年度は利用者の目指す資格が看護系に偏っていたため、今後は保育士及び介護福祉士志望者へも利用の拡大を図ります。

なお、平成29年度は看護師資格について講習会を実施し、14名の参加があり参加者の中から実際に看護学校に入学し、次年度本制度を利用する見込みの方もいます。次年度以降は保育士等他の資格についても同様に講習会の開催を予定しています。

《以下チラシより引用》

#### ①月額最大10万円の生活費を支給します！

さらに、看護師・保育士・介護福祉士を目指す方には、

#### ②月額最大5万円の返済免除付きの貸付がご利用になれます!!

#### <例> 母と児童2人の世帯の場合

児童手当 2万円	児童扶養手当 5万2千円	関連奨学金 5万円	①給付金 10万円	②貸付 5万円
-------------	-----------------	--------------	--------------	------------

生活費として **合計27万2千円** を確保、  
資格取得の学費は、養成学校や病院の奨学金を利用  
生活を維持しながら資格を取得 ➤ **安定した就労へ**

(※数値はあくまで試算です。個人によって異なります)

## 8 教育・保育の計画的整備 【保育整備課】

[教育・保育]

○2号(「学校教育利用希望が強い」以外)

【北部】		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み		859人	906人	954人	929人	920人
確保 方策	特定教育・保育施設※1	920人	974人	1,118人	1,118人	1,118人
	確認を受けない幼稚園	—	—	—	—	—
	特定地域型保育事業※2	—	—	—	—	—
	認可外保育施設	12人	12人	12人	12人	12人
	計	932人	986人	1,130人	1,130人	1,130人
実績(実績(定員数))		996人	1,043人	1,181人		

【中央】		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み		1,139人	1,201人	1,264人	1,231人	1,216人
確保 方策	特定教育・保育施設※1	1,264人	1,357人	1,357人	1,357人	1,357人
	確認を受けない幼稚園	—	—	—	—	—
	特定地域型保育事業※2	—	—	—	—	—
	認可外保育施設	11人	11人	11人	11人	11人
	計	1,275人	1,368人	1,368人	1,368人	1,368人
実績(定員数)		1,414人	1,462人	1,534人		

【南部】		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み		1,028人	1,085人	1,142人	1,112人	1,101人
確保 方策	特定教育・保育施設※1	1,079人	1,220人	1,310人	1,310人	1,310人
	確認を受けない幼稚園	—	—	—	—	—
	特定地域型保育事業※2	—	—	—	—	—
	認可外保育施設	6人	6人	6人	6人	6人
	計	1,085人	1,226人	1,316人	1,316人	1,316人
実績(定員数)		1,108人	1,258人	1,268人		

【市全域】		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み		3,026人	3,192人	3,360人	3,272人	3,237人
確保 方策	特定教育・保育施設※1	3,263人	3,551人	3,785人	3,785人	3,785人
	確認を受けない幼稚園	—	—	—	—	—
	特定地域型保育事業※2	—	—	—	—	—
	認可外保育施設	29人	29人	29人	29人	29人
	計	3,292人	3,580人	3,814人	3,814人	3,814人
実績(定員数)		3,518人	3,763人	3,983人		

※1 特定教育・保育施設とは、認定こども園、確認を受ける幼稚園及び認可保育園をいう。

※2 特定地域型保育事業とは、小規模保育事業A型、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業をいう。

○3号(1・2歳)

【北部】		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み		548人	582人	617人	601人	594人
確保 方 策	特定教育・保育施設※1	500人	530人	602人	602人	602人
	確認を受けない幼稚園	—	—	—	—	—
	特定地域型保育事業※2	0人	16人	16人	16人	16人
	認可外保育施設	37人	37人	37人	37人	37人
	計	537人	583人	655人	655人	655人
実績(定員数)		542人	569人	648人		

【中央】		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み		715人	755人	795人	774人	765人
確保 方 策	特定教育・保育施設※1	745人	800人	800人	800人	800人
	確認を受けない幼稚園	—	—	—	—	—
	特定地域型保育事業※2	12人	48人	48人	48人	48人
	認可外保育施設	70人	70人	70人	70人	70人
	計	827人	918人	918人	918人	918人
実績(定員数)		827人	909人	941人		

【南部】		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み		618人	648人	679人	661人	655人
確保 方 策	特定教育・保育施設※1	551人	623人	665人	665人	665人
	確認を受けない幼稚園	—	—	—	—	—
	特定地域型保育事業※2	0人	0人	0人	0人	0人
	認可外保育施設	29人	29人	29人	29人	29人
	計	580人	652人	694人	694人	694人
実績(定員数)		605人	664人	664人		

【市全域】		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み		1,881人	1,985人	2,091人	2,036人	2,014人
保育利用率		28.3%	30.7%	33.2%	33.2%	33.2%
確保 方 策	特定教育・保育施設※1	1,796人	1,953人	2,067人	2,067人	2,067人
	確認を受けない幼稚園	—	—	—	—	—
	特定地域型保育事業※2	12人	64人	64人	64人	64人
	認可外保育施設	136人	136人	136人	136人	136人
	計	1,944人	2,153人	2,267人	2,267人	2,267人
実績(定員数)		1,974人	2,142人	2,253人		

■ 柏市子ども・子育て支援事業計画の該当施策

施策3-(1) 教育・保育の計画的整備 52~59ページ

○幼保連携型認定こども園の目標設置数

【市全域】	27年度～31年度
目標設置数	10園（既存の認定こども園（4園）を除く）
実績	3園

■平成29年度の取り組み

◆幼保連携型認定こども園1園，私立認可保育園2園，小規模保育事業A型1園の整備，幼保連携型認定こども園1園の耐震改築などにより，定員数を343人増加し，平成29年4月1日における2号・3号子どもの利用定員数を6，722人としました。

■今後の取り組み・課題

◆保育需要が増加している中で，入園保留児数の推移を注視しながら，引き続き，既存幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行と，私立認可保育園の整備を優先して行います。また，必要に応じ小規模保育事業A型を整備します。

## 9 こどもルームの整備 【学童保育課】

[放課後児童健全育成事業]

【市全域】	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	2,283人	2,290人	2,297人	2,304人	2,252人
低学年	1,852人	1,858人	1,863人	1,867人	1,824人
高学年	431人	432人	434人	437人	428人
確保方策	2,455人	2,455人	2,455人	2,455人	2,455人
実績	2,505人	2,689人	2,941人		

### ■平成29年度の取り組み

#### ◆第二保育室等の整備

- ・柏六小及び十余二小こどもルームに第二保育室を増設しました。
- ・光ヶ丘小こどもルームを二階建てに建て替えました。

#### ◆余裕教室の活用

- ・11ヶ所のこどもルームで小学校の余裕教室等を保育室として活用しました。

### ■今後の取り組み・課題

- ◆手賀東小にこどもルームを新規に設置します。
- ◆田中小こどもルーム第二・第三保育室を増設します。
- ◆引き続き、小学校の余裕教室等を保育室として活用します。

《こどもルームの整備予定》

ルーム	H29				H30				H31				
田中小 (増設)	設計	→			建設	→			開所				
手賀東小 (新設)					設計	建設	→			開所			

■柏市子ども・子育て支援事業計画の該当施策

施策3-(1) 教育・保育の計画的整備 52～59ページ